

陸軍

十月一日 永委

一 監視哨状況調査セシム

沖徳野國野副

二 大隊長にシテ演習見學ヲ歸隊ニニ〇〇

本初叶半樹花

三 副官ヲシテ軍務開教地交渉セシム

四 松尾軍醫中尉 第一中隊へ出張セシム 一〇〇〇—一五〇〇

五 糧秣令散配置セシム 〇九〇〇—一〇〇〇

六 彈藥格納所構築 飯沼隊長以下二名 〇八〇〇—一七〇〇

支領

七 獨派五聯隊會報

八 十月一日ヨリ左記支領ニ依リ軍務開教ス

左記

一 場所 元連射砲手舎

二 時間 毎日一七〇〇—一九〇〇

三 教書者目 〇三九〇—一〇三九〇 〇三九〇—一〇三九〇 20時 〇三九〇—一〇三九〇

カランフ 5時

四 演習時間 〇三九〇—一〇三九〇

下達命令 一 大作命第三上號 第一大隊命令 (別紙其(一))

大隊命令

一 當令間日標時限之左如規定

左 記

〇五〇 起林及日朝吳呼 〇七〇 朝 食

〇八〇 作業開始 一〇〇 昼 食

一三〇 作業開始 一七〇 作業中止

一八〇 夕 食 二〇〇 日夕吳呼

二〇三〇 消 燈

會 報

一 當令間之左如各隊本部章察ノ使用ヲ許可スル
時間一五〇〇—二〇〇〇トシ使用許可人員各隊ノ一
以付トス

月曜日 第一隊第二中隊 火曜日 第三隊一隊

解

人員 三十六名 末馬 二頭 單式 二匹

(以下解連返シ)

上月(木)第一彈藥格納所開設作業 〇八〇—一七〇

謝 花 二 高木中尉糧秣令散配置狀況視察 五〇—一〇〇

三 鑄造中尉中告ノ來隊ス 一〇〇〇

受 領 獨浪矢五日命第九四號

獨浪五命為第一本職明三日演習見學為一泊ノ予定及テ武部隊ニ

出張ス 小次長長隨行スル

二—五省略

六 明日(明)岩節ニ于遙拜式ヲ舉行ス 以下省略

七 明日(明)式終了後一級ニ休養セシム

但シ丙流戰備下令セラルル場合若シハ業務上支障

了者ニ於テ此ノ限ヲ非ス

下達命令
大隊命令

八明三日一三〇〇ヨリ重裝ヲ使用ヲ許可ス

十月二日大隊命令

一十月三日明治節ニ各隊各ニ建拜式ヲ舉行スルト共ニ
中隊長ノ精神訓話ヲ實施シ式終了後ニ將兵ヲニテ
休養セシムベシ

尚十月五日曜日ハ平常通り服務スベシ

二大隊ニ十月五日對戰車再攻毒ニ周ニシ幹部教育ヲ
左記ノ通り實施ス

依テ各隊全隊長以上ニ同日一三三〇迄ニ大隊本部ニ集
合スベシ

左記

一日時 一一・五・一四〇〇

場所 新花園國民學校附近

了教官 松村中尉

4. 專習員 各中隊分隊長以上

備考 教官ノ同日ニ必要ナル助手並ニ其他所要ノ資料ヲ
準備スベシ

專習員ノ服裝ニ徒手帶劍脚絆トシ各隊ニ於テ準備シ
再攻毒材並ニ参考書筆記具ヲ携行ノコト

會報

二 二分ノ一新陣地既備要圖ヲ十月四日一三〇〇ニ提出ノコト

ニ 光ニ連絡シテ監視哨狀況丙號戰備以上ノ既置要圖

ハ十月四日一三〇〇ニ報告ノコト

三 十月五日三十一日兩日ニ亘リ一所及身ニ中隊ノ月例身体

検査ヲ實施セリ

尚兩分部隊ノ検査ハ左記ノ通り醫務室ニ於テ實施
ス

三日〇九〇〇—一〇三〇

第二中隊

謝

人員	<p>十月四日酒會 一 大隊副官 北地 駐屯地會報出席 〇〇〇—〇〇〇 二 大隊長 中隊 〇〇〇 三 松尾軍醫中尉 第一中隊 〇〇〇 四 彈藥格的庫作業 〇〇〇—〇〇〇 十月四日 大隊命令 一 陸軍中尉 中村 敬治 右 自二二八 間 巡察將校 服勢 スベレ 會 報 明治六日 日地 駐屯地會報 之ヲ取止ム 三十一名 本馬 二頭 軍犬 二匹</p>
----	---

人員	<p>十月五日酒會 一 明治節達 拜式 舉行 〇〇〇〇 二 大隊長 訓示 (別紙 其ノ二) 三 午台 休養 ヲ會食 〇九〇〇 四 月例 身体 検査 第一中隊 各人 宛 清酒 〇三五 パイ 罐 一三五 瓦 煙草 三本 (四日分)</p>
給與	<p>五百〇八〇〇—〇〇〇〇 本部 〇〇〇八三〇〇—〇〇〇〇 第一中隊 四 襄ニ提出シタル 疑砲 疑兵ニ對シテ 左ノ通り 賣ラズ 賣品ヲ與フ 一等賣 第一中隊 疑速射砲 二等賣 〃 疑重機 三等賣 第二中隊 疑指揮官 疑輕機 三十一名 本馬 二頭 軍犬 二匹</p>

青首(日晴)

一幹部教育 (大隊内政) 六謝花 一四〇〇

謝花

二總務格納庫敷設作業 〇(〇〇)一〇〇〇

受領

北地区隊長命令

独派五隊六五

一南方軍(通敵)依六五〇六五〇航空母艦三戰艦一

繼續約四〇、敵機動部隊三三〇東方ヲ北上中ニシテ
六日早曉沖繩南方約二〇〇軒附近ニ達スル距離ニ
在リテ廢滅ヲ要ス

二地区隊ハ一部ヲ以テ對空警戒ヲ嚴チラント共ニ明
拂曉時ニ於テ對空警戒ヲ準備セトス

三本部及第一線西大隊ハ對空警戒ヲ嚴チラント
共ニ明曉ノ對空警戒ヲ準備スベシ

四在本部部隊ハ衛兵ニ一部ヲ兵力ヲ増強シ渡久地
西方高地ニ對空監視及對空射撃部隊設置ス

シ

爾余諸隊ハ資料ヲ用意ニ分散スルト共ニ應急ノ
態勢ヲ以テ夜ヲ徹スベシ
五余ハ本部國民學校ニ在リ

北地区隊長 美田大佐

下達法 軍首ヲ傳ハ後印刷室付

配布先 各字備隊

報告通報先 各地區隊

軍隊往來往來禁過、仲通牒

軍隊往來往來禁過、仲通牒

軍隊往來往來禁過、仲通牒

十一月五日 大隊命令 追加
二半書 陸軍中尉 小野寺英雄

少尉 山本 健三

右上月言軍ヲ示シ更ニ其施スルニ對テ米戰斗見學ノタメ
即日歸隊ノ事ヲ示シ其ノ期市ニ出張ノ命ヲ不

陸軍

人員 二十六名 乘馬二頭 軍犬二匹

十月六日晴 一各中隊長集合
二大隊司令部慰勞所用物件開封今歸化方面出張
三聯隊本部より陣地配備物件開封同次大尉米隊より
四高木主計中尉聯隊本部連絡多出張

受領 十月六日 十月六日 十月六日 十月六日
十月六日 十月六日 十月六日 十月六日
十月六日 十月六日 十月六日 十月六日

下達命令 十月六日 大隊命令
一 本職明七日より二日号渡君見廻りノ多ク泊り定ヲ
二 對砲隊教育九日一〇日一四日ヲ大隊二五〇号大隊二
三 對戰車砲隊教育四日ヲ二六日ニ
四 對裝備演習二八・九日ヲ二十九日ニ

大隊日日命令 十月六日 大隊命令
一 本職明七日より二日号渡君見廻りノ多ク泊り定ヲ
二 對砲隊教育九日一〇日一四日ヲ大隊二五〇号大隊二
三 對戰車砲隊教育四日ヲ二六日ニ
四 對裝備演習二八・九日ヲ二十九日ニ

人員 二十六名 乘馬二頭 軍犬二匹
以于那覇市出張ス
不在間大隊指揮ヲ御子神大尉執ルベシ

十月六日晴 一 大隊長より号渡君見廻り出張 〇五〇〇—二二〇〇
二 彈藥庫敷設作業 〇八〇〇—一七三〇
三 砲臺式待避壕敷設作業 一三〇〇—一五〇〇
四 大隊司令部慰勞品配物件開封今歸化方面出張 一三〇〇

受領 北地區隊命令 一 軍中地方住民ト親任ヲ嚴禁シ二月一日マテニ之カ
清掃ヲ期ス

一 地區隊ノ軍方針ニ基キ米ノ十日マテ現ニ地方住民ト
混居ナル部隊ヲ藁屋幕舎等ニ転居セシメトス
二 本部各隊ノ現作業ヲ實施スル傍一部ハ兵力ヲ陣地

附近ニ速カニ兵舎 兼 庫房 兼 倉庫 等ヲ構築シテ十月
十日至ニ転居スベシ

右ニ要スル材料ハ各隊各ニ現地ニ於テ蒐集スルヲ本旨ト
スルニ一部ノ材料ヲ遂次交付ス

四 高級主計ニ向テ兵舎 兼 庫房 兼 倉庫 等ノ構築ニ要スル
諸材料ヲ蒐集交付ス

五 住居材料蒐集交付ノ事本部各隊ハ明日(十日)ヨリ
又左記人員ヲ本部ニ差出シ柳主計大尉ノ指揮ヲ
受ケルベシ

左記

本部(含大隊本部) 下士官各一
各中隊(含独立中隊) 兵各一

六 渡久地製材所 使用ニ用テ旅団工兵隊ト決定ス
七 工兵隊長ハ本部及各隊ノ兵舎構築ノ事ヲ一部ノ

ノ兵力ヲ以テ地方大ニテ指揮セシムベシ

八 予ハ本部國民學校ニ在リ

北地区隊長 美田大佐

下達法 要旨ヲ傳ヘ後印刷交付

配布先 各隊

報告先

各地區隊 旅団工兵隊 砲兵隊

通報

兵站支部 給糧工兵 二大隊隊作并隊

防務給水班 曉作班

一 大佐命令 第三七號 第一大隊命令(別紙其二)

二 付六名 陸渡各五名 乘馬二頭 軍犬二匹

三 煙草各人二十人本(四日令)宛加給ス

一 大昭奉戴式ヲ舉行ス

二 與右任長ヲ以テ独演作命 第六六號ニ依リ勤勞力員トシテ

十月八日
下達命令
人員
給與

服勞出發セシム

〇九〇〇

三 作業

〇八〇〇—一七〇〇

四 大隊長聯隊長之演習見聞手件報告ノ結果 辰三三〇

下達命令

會

報

一 蠅取週間ニ於ケル成果左如シ

大隊本部 一三三〇 第一中隊 一四五三九

第二中隊 八三四九 第三中隊 二二七一四

第一機銃中隊 四八七八

統計 五一七二〇

尚今後共之徹底撲滅ニ努力カシト

二 卜ノ手演習見聞手件

第五次 一三〇(四)ラ一五〇(六)ロニ

第六次 一六〇(七)ロ一七〇(九)ニ九〇(二)ロニ夫々変更サレ

三十六名 來馬ニ頭率大ニ四

人(馬)員

七月九日未報
謝花

一 申事神大尉ニ各隊地方民ノ居住狀況ヲ視察セシム

二 大隊副官各區長ト會同

三 高木主計中尉ニ草寮開設ニ關シ準備セシム

此地ニ隊命令

受領
藤原合英虎

一 軍用米草上對シテ戰技教育ヲ實施ス

二 地區隊ノ右普及教育ヲ實施シ以テ部隊戦力充實

ヲ期セシム

三 小野寺中尉ニ別紙ニ基キ普及教育ノ計画實施シ

四 各大隊ノ小野寺中尉ノ連絡ニ基キ所要ノ兵士及演習

資料ヲ準備セシム

此地區隊長 美田大佐

下達法 要旨ヲ傳ヘ後印刷交付

正市先各隊

報告通報先 棚 各地三隊

備案一三作命第六七旅別隊者略

三十一日() 軍大五五

人(馬)員

自備

上月十日(金)

雨後雲

謝光

下連

大隊令報

一 悉往... 1700

二 御子... 1700

三 御子... 1700

四 謝光... 1700

大隊令報

一 各隊ハハ... 1700

地夫... 1700

是日... 1700

披定... 1700

人(馬)員

上月十日(金)

謝光

負領

總務主任

若類... 1700

手書... 1700

一 大隊... 1700

二 陣... 1700

三 陣... 1700

四 陣... 1700

五 陣... 1700

六 陣... 1700

七 陣... 1700

八 陣... 1700

九 陣... 1700

十 陣... 1700

十一 陣... 1700

十二 陣... 1700

十三 陣... 1700

十四 陣... 1700

十五 陣... 1700

十六 陣... 1700

給興
人(馬)員

右社用土の問に奈將技服務ス
各人宛煙草五本(日令) 清酒〇.三五加給ス
三六名(在渡地)石赤馬 二頭 單六二匹

十一月十日

一 大隊長陣地視察 〇九〇〇—一三〇〇

雨後曇天
謝花

二 陣地作業 〇八〇〇—一〇〇〇
三 一〇〇〇以後の努力實施檢査實施ス

下達命令

十一月十日大隊命令會報
各隊に各隊毎二個以上ノ急造担架ヲ速ニ製作シ
準備シ置クト

尚所要資材ハ現地ト用資材ニ依リ費用ノ圖シテ
經理室ニ連絡シト

人(馬)員

三十一名 赤馬二頭 單六二匹

十一月十日
謝花
大隊會報

一 陣地構築作業 〇八〇〇—一七〇〇
二 独渡(五作)命第六七號ニ依リ幹部教育實施 三十七名
十一月二日 會報
一 大隊ニ隊隊ノ指示ニ基キ專表ニ調査ス將校下官
及ニ特殊技能ヲ精査ス 依リ各隊ニ左記標式ニ依
リ調査表ヲ作製明白 五日 一〇〇〇ヲ提呈シト

左記

項目	官事名	姓	屋	経	屋	會社名	入替前職業
項目毎	將校下官	共	順	二	記	入欄	ノ行簡ス
三十一名	(在渡地)	一名	赤馬	二頭	單六	二匹	

人(馬)員

三十一名(在渡地)一名 赤馬 二頭 單六二匹

青古晴
謝花

一 大隊長看安全構築狀況視察
二 大隊副官ニテ安全構築材料取得支考ノ多出版

七五

二各隊二二兩共含備集材料若干支給ス

受領

独立隊或第一二聯隊命令

積集命令等

一別紙封書等若干一六〇一七〇兩日地味隊對砲煤施

設及物資集積状況ヲ進視ス

(別紙省略)

二三省略ス

四陸軍上等兵

西島弘

右十月十五日ヨリ本部經理室ニ於テ勤務ス

十月十四日大隊命令

大隊日々令

一本職明十五日一〇〇〇各隊砲煤施設及物資

集積状況ヲ左記順路ニテ視察ス

左

記

嘉津宇一△一〇一一大堂原一△一〇一東上原一

内當北側高地一△一〇二西側高地一屋次久原

大隊會報

一各隊二番長提去ル疑兵疑砲ヲ持歸リ偽陣地

二鉄材蒐集クテ明日十五日第一中隊第二中隊ヨリ

各共一名ヲ屋次久原ニシテ三〇三ニ聯隊本部到リ兵器

洗濯等并軍曹ノ指示ヲ受ケルニト

服装ト徒手帶劍昼食携行ニト

三五六名(在渡地)一乘馬二頭 軍犬二匹

人(馬)員

十月十日

謝花

一大隊長對砲煤施設及物資集積状況視察ハハハ

二大隊副官隨行セシム

三軍營及慰安所施設作業 〇八〇〇—一七〇〇

四陣地構築作業 〇八〇〇—一七〇〇

五糧秣集積所一部変更移集ス

六軍官民連合整備演習ニ関シ整防団編成

北

受領下達

給典

人馬二員



十月廿六日

謝花

受領

發給券共五号

指導一執子團原着合部同ス。〇九〇〇一六〇〇
命令ナシ

各人宛煙草十本(四日分) 煙頭二個 加給ス

三十枚名ナシ 赤馬二頭 單六二匹

一、丙隊敷南下令ニ付テ監視哨ヲ哨其他ヲ指示配置ス

二、聯隊長對砲塔施設監視セリ。〇八〇〇一七〇〇

三、大隊長申子神又尉 高木主計中尉 渡辺伍長以下三名
聯隊長ニ隨行其状況ヲ報告ス

北地区隊命令 於一六・二二〇〇

一、敵ハ機動艦隊及テバヲ千群島方面ニホテ又其ノ基
地航空部隊及テ支那基地ヲ大々機動準備中ナルニ

ノ如シ近々南西諸島ヲ攻撃スルノ算ナリ

當分ノ間毎日〇三〇〇一八九〇主計中尉西渡機備下令セリ

二、聯隊ハ戦斗計畫書ニ基テ對空監視ヲ強化セトス

三、各隊ハ十月十日戰訓及結果ニ亙ル訓示注意ノ徹底ヲ
圖リ其缺陷ヲカラシム

四、對空射撃ハ戦斗計畫書ニ基テ必墜ヲスベシ

特ニ速射砲隊砲ハ射方向ヲ限定シ極力其位置
ヲ秘匿掩蔽スベシ

五、人員掩蔽ニ関シテ對空監視哨及勤務者ニ作業
隊ニ空襲時ニホテル所要ノ掩蔽設備ヲ行フベシ

陣地附近ノ假兵舎ノ偽裝遮蔽ニ徹スベシ

六、兵器彈藥糧秣其他資材ハ勉テ本陣地内ノ
洞窟内ニ分散格納スベシ

洞窟内雨水等々ヲ防湿上適當ナキナルモノ洞窟内
近ニ一時令散遮蔽シ空襲時洞窟内ニ格納シ萬
全ヲ期スベシ

洞窟内雨水等々ヲ防湿上適當ナキナルモノ洞窟内
近ニ一時令散遮蔽シ空襲時洞窟内ニ格納シ萬
全ヲ期スベシ

自動車ハ市時偽装スル他空襲時没久地東方各地掩体ニ馬匹産久京南方各地附近ニ馬匹掩体構築シ空襲時分散配置スベシ

七、各隊長ハ敵ノ奇襲ニ對シ兵器彈藥糧秣其ノ他軍需品檢査ノ萬全ヲ期スルヲ市時檢査ヲ勵行スベシ

八、予ハ本部國民學校ニ在リ

北地区隊長 美田大佐

下達後 要旨ヲ傳後印刷交付

配布先 各隊

報告通致先 各地区隊

一、大作命令第三八號 第一大隊命令(別紙其四)

大隊會報

一、齊品乾電池蓄電池眞空管回收箇月

二十七日陸密第四三號主旨ノ徹底ヲ期スルヲ旅團ヲ左克要領ニ依リ實施スルコトニ定ムラレタル付各隊ニ毎日三十三日迄ニ齊品ヨリ生シタル場合ハ大隊本部其各州ニ返納ス

二、齊品乾電池眞空管ヲ毎月取極メ旅團ニ返納スモノトシ蓄電池荷造リノ際ハ電化ヲ完全ニ除去シ輸送間漏ノタメ他ノ軍需品ヲ損傷セシムコトヲ極留意セシメ

三十八名 乘馬二頭 軍犬二頭



謝花 十月六日 齊品乾電池眞空管(飯沼伍長以下三名) 〇〇〇〇一七三〇

一、庫裡構築作業(飯沼伍長以下三名) 〇〇〇〇一七三〇
 二、軍需品及軍需品ヲ貯藏備作業 〇〇〇〇一七三〇
 三、御子神火尉各隊丙號戰備狀況視察セシム 〇〇〇〇一七三〇
 四、聯隊長等ニ中隊對砲煙花發射集積狀況視

三末隊等

一四〇〇

五、大隊長右に隨行報告ス

北地區隊命令

北一七二五〇〇

受領

獲品等

一、旅團に築城材料等を作業員實施ス

二、地區隊に材料作業隊、人員ヲ差出サントス

三、各隊に左記人員ヲ土月二〇日〇〇〇伊豆味國民

學校ニ差出シ藤原少尉ヲ指揮トスルベシ

服装、軍裝トス

左記

第一大隊

兵八

第二大隊

下士官一

兵七

聯隊砲隊

兵一

連射砲隊

兵一

工兵中隊

兵二

四、材料作業隊服務期間に概ネ三十日間トシ宿營
給與ハ南地區隊擔任シ作業隊員ハ鋸斧各一人ニ
付一ヲ携行スベシ

北地區隊長

美田大佐

下達法 印刷交付

配布先 各隊

報告通報先 各地區隊

北地區隊命令

北一七二五〇〇

獲品等

一、地區隊に主陣地、交通路ヲ整備セシトス

二、三兵隊長一部、兵力ヲシテ本部國民學校生徒

勤勞奉仕隊員ヲ指揮セシメ滿名一、二道ヲ

補修スベシ

三、勤勞奉仕隊員ハ一日ヲ毎日〇〇〇本部國民學

校ニ於テ守掌握スベシ

四、作業是成ニニトス
 五、予本部國民學校ニ在リ
 北地区隊長 美田大佐
 下達法 要旨ヲ傳ヘ後印刷交付
 配布先 各隊
 報告通報先 各地区隊
 下達命令 十月十七日大隊會達
 大隊會報 一、爾ノ對空射擊部隊ニ必行カシテ陣地作製
 上其ノ中射擊スルニ射擊ノ直距離ニヨリ
 以テ敵機ニ對シ小隊長ノ命令ヲ實施ス
 二、將校ニ與ハシテ問題
 一、中隊長 自己中隊戰鬥指導ノ腹案
 二、小隊長 自己小隊
 三、各隊隊長

十月十六日晴
 人員 三十八名 赤馬三頭 軍犬二匹
 一、各種障礙ノ設置腹案
 二、水際戰鬥ノ要領
 三、其ノ他特ニ著意シテ事項
 四、用紙ノ業半紙ト要圖答解
 五、提出期日ハ十月二十五日會報時ニトス
 一、大隊團官ノ北地区駐屯地會報ニ出席ス
 二、軍官民合同者對面作製完了ス
 三、中隊大隊ヲ以テ警防團長其他地方側指導者ト
 會同指導ス
 北地区隊命令
 旅團ハ兵團內陣地及軍需品ノ集積地ニ對シ連發

ノ状況ヲ空中ヨリ偵察ス

二 地区隊ハ御子神大尉ヲ以テ右ノ偵察機ニ同乗セシメ
軍需物品集積場消息施設等ニ陣地ノ状況ヲ偵察
セシメ地区隊ノ對空速射砲ヲ強化セントス

三 御子神大尉ハ十九日ハロロ迄ニ旅團司令部ニ出現シ
高級部員指示ニヨリ空中ヨリ偵察ニ任スベシ
四 偵察復連カニ実視ノ状況ヲ報告スベシ

北地区隊長

美田大佐

下達法

電話後印刷交付

配布先

各隊

報告通報光

各地区隊

独立混成第五聯隊命令

第三中隊 陸軍兵長

長田 柴

伊藤 卯之介

独立五命令三

右下ニ官勤勢ヲ命ス

陸軍大尉

田中 成清

中尉

杉浦 隆孝

松村 孝一

右明一九日伊江島地区隊ノ実施ニ對シ戦車中夜查

閲見學子ノ多ク泊ト予定ヲ以テ伊江島ニ出張ヲ命ス

北地区駐屯地命令

第一八二〇地

駐屯地命令六号

一 連隊將校左記ノ通り服務スベシ

左記

上月九日 A地区

球七八三六部隊井上隊

同二十日 B地区

同 野崎隊

同二十五日 C地区

同 井上隊

同 同日 A地区

同 曉第六四部隊

同 同日 B地区

同 球七八三六部隊本部

下達命令
大隊命令

同三番日C地同

野崎隊

十月十八日大隊命令

一、陸軍少尉

菅原榮

右同上月C地同間地察將校服務スル

大隊會報

十月二十日ヨリ二十一日ヨリ同寒水原野醫務室全室

ノ診察ハ一時閉鎖ス 同期間患者發生ノ場合

ハ謝花本部醫務室ニ連絡スル

各人宛煙草十二本(四日分)清酒〇三ニ加給ス

三十八名 赤馬二頭 軍犬二匹

十月十九日晴
謝花

一、市子神大尉独浪(五作命第七三三)依ハ空申偵察
スル旅団司令部ニ出張ス

二、陣地構築作業

下達命令

十月十九日大隊命令

大隊命令

一、独浪(五作命第七〇三)依ハ築城材料採取兼動

務員トシ各隊ヨリ兵二名ヲ選出シ服務セシム

三十八名 赤馬二頭 軍犬二匹

十月二十日晴
謝花

一、第四軍官民所合夜習其基礎演技指導

二、御子神大尉ヲシテ内衛隊ヲ編成ス訓練セシム

三、松尾軍醫中尉ヲ女子担架隊指導

三十八名(松尾一名)在內當二名(在松尾一名)在赤馬一名

赤馬二頭 軍犬二匹

十月二十日曇
謝花

一、内衛隊訓練 大隊副官

二、遊學防同教育 中士神大尉

三、女子担架隊指導 松尾中尉

受領

猪瀬喜春大

独立混成第一旅隊命令

一本職明三上日伊江島地区隊、実施スル水除戦士指導

夕日歸隊ノ予定アリ、伊江島ニ出張ス

二省略(大隊ニ)

陸軍少尉

滝川民夫

大野誠一

右本職ニ随行ヲ命ズ

情報

自衛軍便奉機、報告ヨリ、二十日、四四五「カクシ」

一四五五ニシテ、附近ニ敵機、移動アリ、北上ノ早

大ナリ

三十四名(花) 乗馬二頭 軍犬二匹

人員

上月五日晴

一、防衛隊警防團女子担架隊訓練 各一〇〇

二、大隊長常務新里 具志堅訓練状況観察

人員

三十四名 軍馬二頭 軍犬二匹

上月五日晴

一、防衛隊訓練 大隊司令

謝花

二、警防團訓練 中子神大尉

給與

三、女子担架隊指導 梅原衛重部見習士官

人員

各合記煙草士本(白)合給 酒保(白)士(筆末)三ノ上(野)現給

人員

三十四名 軍馬二頭 軍犬二匹

上月十四日晴

一、防衛隊警防團女子担架隊指導訓練

謝花

二、中子神大尉家庭防大尉指導 謝花

下達命令

十一月二十四日大隊命令

大隊日日命令

一、上月二十五日ヨリ別命ナル迄本部及各隊外各三團ニ

左記ノ如ク心得セン

左記

1. 目的 軍隊守所及軍務ヲ使用セシム
 2. 外出許可人員各隊人員ノ1/3以内
 3. 外出區域 謝花地区内(各隊ノ駐屯地ヨリ謝花地区
 三通ル道路ヲ含ム)
 4. 外出時間 一〇時以後トシ歸營時間ニ至リテ軍隊
 内務令ニ依ル
 5. 服装 北地区駐屯地規定ニ依ル
 6. 外出日
 日 第一隊 第二中隊
 月 本部 第三隊 第一機関銃中隊
 (以下繰返シ)
 但シ都合ニ依リ各隊ニ於テ其外出日ヲ交代スル
 コトヲ得
 三各隊内務ヲ勘定シテ外出簿ヲ作製シテ上外出前日迄ニ

大隊會報	外出希望者ノ氏名ヲ記入セシメ其檢シタル後各中隊長 ノ許可ヲ得ルモノトス 三各隊週番(日直)上官ノ外出人員ヲ承認シタル後三 服装検査ヲ実施スベシ 之カタル各隊毎ニ外出服装検査ノ集會場所ヲ規定シ 確實ニ之ヲ実行シテ無届ニテ外出スルカ知ラセテ皆無 ナラシムベシ 四外出日ニ於テ其駐外居住下上官ノ許可ヲ得ルモノトス 會報 一明二十五日ヨリ本部ヨリ謝花ニ即時隊軍務ヲ南敷 南敷時刻 一七〇〇—一七〇〇 物品販賣時刻 一五〇〇—一七〇〇トス 酒保品トシテ各人宛煙草八五個 墨鉛五〇五七等配給 三十四名 軍馬二頭 軍犬二匹	給與 人員
------	---	----------



十月五日晴

謝花

受領

独張五命五八

一、軍官民連合演習指導中(第二期)中子神大尉以下九名
 二、軍務開致ス
 独立混成第一五聯隊日命令
 本職明正六日事務方連絡、夕、即日歸隊予定及テ
 名護旅團司令部ニ出張ス、石井少尉随同行ヲ命ズ
 二、五有略

追加

日命一〇八号追加命令

第一中隊 陸軍曹長 湯原 清

第一、 准尉 土棚 藤一

第三、 曹長 塚越 経照

第四、 曹長 大河内 正則

以下 有 略

右本二十四日軍務部長ノ講話ニ出張ス、夕、即日歸隊

人 員

ノ予定及下名護野球一八八〇部隊ニ出張ヲ命ズ
 三十四名 軍馬二頭 軍犬二匹

十月五日晴

謝花

受領

独張五命五八

一、中子神大尉以下九名ヲテ警備隊担架隊訓練セシム
 二、慰安所設備完了ス
 北地區隊命令 二一六、一五〇
 一部隊ニ情勢ヲ即應スル為對戰車由攻資材ノ整備
 及之ヲ取扱、教育ヲ実施ス

二、兵器委員ハ三十日午前第一大隊同午後第二大隊ノ

下士官以上全員ニ對シ前項教育ヲ担任実施スベシ

三、第三線西大隊ニ奉習員トシテ下士官以上全員ヲ集合

兵器委員ノ教育ヲ受ケシムベシ

四、本部及独五中隊ハ第一大隊ノ教育ニ参加スベシ

五、教育計画ハ別ニ配布ス

北地三隊長	美田大佐
下達法	印刷交付
配布先	各隊
報告通報先	各地三隊
三十四名	軍馬二頭 軍犬二匹
人員	
七月二十七日晴	一、市子神大尉以下九名ヲテ所衛演習ヲ實施指導セシム
謝花	二、大隊長統裁部員ヲ集合セシテ演習指針及打合ヲス
受領	北地區隊命令
独張五作命六	一、独張五作命第六九号ノ内荒戰備ノ之ヲ中止ス
	北地三隊長 美田大佐
	要旨ヲ電話台印刷交付
	下達法 各隊
	配布先 各地三隊
	報告通報先 各地三隊

独張五作命二五	独之演成第一三聯隊日々命令
一、省略	
二、第二中隊	陸軍上等兵 中村清壽
右聯隊本部勤務ヲ命ズ	
會報	
大隊會報	一、各隊ノ制以テ一名ヲ教育員トシ明廿八日ハ八〇〇起ニ
給與	聯隊本部ヲ集合セシメント
人員	各人宛煙草十本(四日分) 燒酒〇.三三加給ス
	三十八名(左謝花) (左渡久地)一名 軍馬二頭
七月二十七日晴	一、狀況附與ヨリ準備地ニ一帯ノ警備演習ヲ實施ス
謝花	御子神大尉大隊副官松原重四郎中尉篠原良吉士官
	渡辺伍長以下六名指道手 〇八〇〇——一七〇〇
	三、兵元 新里陸保班常命士帯 市子神大尉以下三名

受領

本報五令三三

独立混成第五旅隊日々命令

一、本報明二十九日先大隊、美花スル軍官民合同準備
考習指導、クハ、柳花方面ニ即日歸隊、予是又及テ、夜

ス

志村大尉、石井少尉、柳主計大尉、河田軍醫中尉、隨
行スベシ

二、日命第六六旅隊、頂別紙、討敵軍、由、夜、開、計、画
中、補、助、官、岡、澤、大、尉、ヲ、削、除、シ、柳、主、計、大、尉、ヲ、追、加、ス
三、四、省、略

會報

独立五令報

一、移駐準備、シ、タ、ム、散、格、納、シ、テ、兵、器、彈、藥、ヲ、梱、包、シ、
陣、地、ヨリ、撤、シ、部、落、内、ニ、集、積、ス、ル、ヲ、嚴、禁、ス、兵、器、
彈、藥、ヲ、梱、包、シ、之、ヲ、部、落、内、ニ、搬、出、ス、ル、コ、ト、ナ、ク、依、然、ト、
シ、テ、今、散、格、納、シ、撤、シ、ス、不、慮、ノ、損、害、ヲ、被、ル、コ、ト、ナ、ク、ナ、ル、ヲ、
要、ス

大敵ニ成ルベシ

下達

會

報

大隊會報

一、明三十一日、谷南外谷、外谷、出、テ、林、林、大

二、二十日、本、會、報、第一、項、依、時、狀、讓、渡、之、コ、ト、ナ、シ、
茲、村、中、村、以、松、村、村、併、シ、本、會、報、ト、シ、第、二、大、隊、長、計

長、射、外、將、校、二、名、ト、共、該、隊、目、ヲ、合、同、研、究、ス、ベ、シ

尚、テ、研、究、長、計、大、尉、ナ、リ

入員

三八名 軍馬二頭 軍犬二匹



二十七日

一、軍官民合同、準備、進、習、。〇、八、〇、〇、一、四、〇、〇、

謝北

二、部隊長、於、下、五、名、指、導、進、習、。見、學、ノ、タ、メ、來、隊、セ、ラ、ル

受領

独立混成第五旅隊命令。二、二、九、一、八、〇、
地。

独立五令三三

一、ト、テ、鳥、戰、況、並、軍、ニ、有、利、ニ、進、展、シ、ツ、テ、ア、リ、軍、ニ、狀、勢、
ニ、兩、度、ス、休、勢、ヲ、移、行、ス

二 联隊ノ嚴密な図ヲ把握シツル後、行動ヲ準備スルニ共、戦勢ニ即應スル訓練ヲ実施セントス。

三 第一第二大隊長及高級主計、明午日〇七〇迄、本部國民學校ニ集合シ新任務ニ基テ現地偵察ヲ隨行スベシ。

第三大隊長、明午日成可ク速カク伊江島ヲ發シ追及スベシ。

四 各隊、左記人員ヲ明午日〇七〇迄、本部國民學校ニ差出シ渡辺中尉ノ指揮下ニ入ラシメ新任務ニ先行シ引継及設置ニ任ゼシムベシ。

左 記

將校 联隊本部 石井少尉 町田軍医中尉

第一大隊 山谷少尉

第二大隊 中野少尉

第三大隊 渡辺中尉

下士官 联隊本部一名 独立中队各一名

兵 联隊本部一名 第二大隊二名

第三大隊二名 第三大隊二名

先發者ノ服装、個人裝備ヲ完備シ、渡邊大連營ヲ料、他十日分糧秣ヲ携行セシムベシ。

五 各隊、移駐準備ヲ完整スルニ共、事ヲ情勢ノ兩廣ニ訓練ヲ実施スベシ。

集積彈藥糧秣等、現位置ヨリ運搬ニ関シテハ別ニ指示ス。

大現ニ計画中、對戰車肉攻査閱ハ一時延期ニ實施ノ時期ハ別ニ判命ス。

七 予ハ明午日〇七〇渡久地發新任務移駐地ニ偵察スル後、直ニ渡久地ニ歸還ス。

宿舎状況

昭和十九年十月五日 宿舎状況

本部、謝花國民校、第一中隊、具志里及今泊分隊場

二天、後前通、宿舎入、第一、三中隊、一機、現中隊、

南名、東水原、大重原附近民家、分宿シアリシガ十月

六日、北地、三隊命令、第六機、依り十月十日、期シ、空軍

堀、多小屋等ニ移駐ス、爾後各中隊共、遂次三角共舎

等ヲ連テ移駐ヲ實施ス

入塔、各中隊共、既設浴場ヲ利用、或ハ新設ノ順調ニ

實施シアリ

三機服状況

支給機服種類多数、先月、向心、気温漸次低下セルニ

依り、夏衣袴ヲ着用セシムアリ、袴袴袴、下巻、脚絆等

補修ヲ要スルニヤリ、適宜個人修理ヲ實施シアリ

月間、初動修理班ニ依り、裁数三品ノ修理ヲ實施ス

月間、消耗品トシテ、洗濯石鹼七名、筒支給アリ



計画に基づき基礎訓練應用動作連合練習を施す
 以上六日作合し基本情勢即應之に如く陣地構築作業
 停止し對戰車裝設重夫之置専ら教育訓練に任す
 以下餘白

十一月中主要行事豫定表

一九一〇年十一月

日	本	部	第一中队	第二中队	第三中队	第四中队
1	休	整理	整理	整理	整理	整理
2	休	整理	整理	整理	整理	整理
3	休	整理	整理	整理	整理	整理
4	休	整理	整理	整理	整理	整理
5	休	整理	整理	整理	整理	整理
6	休	整理	整理	整理	整理	整理
7	休	整理	整理	整理	整理	整理
8	休	整理	整理	整理	整理	整理
9	休	整理	整理	整理	整理	整理
10	休	整理	整理	整理	整理	整理
11	休	整理	整理	整理	整理	整理
12	休	整理	整理	整理	整理	整理
13	休	整理	整理	整理	整理	整理
14	休	整理	整理	整理	整理	整理
15	休	整理	整理	整理	整理	整理
16	休	整理	整理	整理	整理	整理
17	休	整理	整理	整理	整理	整理
18	休	整理	整理	整理	整理	整理
19	休	整理	整理	整理	整理	整理
20	休	整理	整理	整理	整理	整理
21	休	整理	整理	整理	整理	整理
22	休	整理	整理	整理	整理	整理
23	休	整理	整理	整理	整理	整理
24	休	整理	整理	整理	整理	整理
25	休	整理	整理	整理	整理	整理
26	休	整理	整理	整理	整理	整理
27	休	整理	整理	整理	整理	整理
28	休	整理	整理	整理	整理	整理
29	休	整理	整理	整理	整理	整理
30	休	整理	整理	整理	整理	整理
31	休	整理	整理	整理	整理	整理

十月中主要行事豫定表

第一九〇。二。隊。

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
休	休	大隊會報	休	單紀放練	單紀放練	單紀放練	單紀放練	單紀放練	單紀放練	大隊會報	衛生	單紀放練	單紀放練	單紀放練	單紀放練	單紀放練	單紀放練	單紀放練	單紀放練	單紀放練	單紀放練	單紀放練	單紀放練	單紀放練	單紀放練	單紀放練	單紀放練	單紀放練	單紀放練
作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作
業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業
作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作
業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業
作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作
業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業

(續前頁)

一 大伴命第三十六

第一大隊命令

謝二、一、二、三、四

一 大隊ハ伊野波ニ在ル旅團砲兵陣地構築
免了マデ第三中隊主力ヲ以テ該陣地ヲ

接護セントス

二 第三中隊ハ主力ヲ以テ・237高地
比久原附近ニ亘リ陣地ヲ構築シ砲兵陣

地ハ接護ニ任スハシ

三 予ハ謝九國民學校ニ在リ

第一大隊長 野崎 大尉

下達法
配布先

印刷配布
各中隊

旅團本部 旅團砲兵隊

訓示



混沌タルサイパン戦局ニ身ヲ投スルノ
覺悟ヲ以テ編成セラレタル部隊ハ非常
ナル士氣ト決意トヲ以テ習志野ヲ遠征
セルモ其ノ后ノ戦況ノ推移ニ伴ヒ沖繩
本島ニ守備ノ大任ヲ拜セリ。而シテ其
ノ間サイパンノ同胞ノ玉碎ヲ知り切齒
ノ情禁シ得ザリシ處、去ル十月十

日矯敵米機ノ本島ニ未襲ヲ見ルヤ矯勢
ノ趣ク處ソノ損害甚シトセス。就中住
民ニ與ヘタル物心両面ニ巨ル影響ハ輕
視ヲ許サ、ルモアリ。此處ニ吾人ハ
指導者的立場ヲ以テ彼等ノ信賴ニ報ユ
ヘク、一面作戰準備ヲ完璧ニスヘク尚
一層ノ努力ヲ要ス。
翻ヘツテ世界ノ戰局ニ眼ヲ轉セハ今ヤ
正シク決戰的段階ニ突入セリト謂フヲ

得ヘシ。即チ明邦獨乙既ニ其ノ戰線整
理ヲ完了シ、國內總予備兵力ノ動員ヲ
開始シアリ。其ノ技術的優秀性ヲ誇ル
各種新發明ノ決戰兵器、増産ト相俟チ
テ、近ク一大攻勢ニ轉スルノ機ヲ伺ヒ
ツ、アリ。我國亦必勝不敗ノ内態勢
ヲ強化シツ、矯敵米英ノ反攻ニ對シ戰
略展開ヲ完了シ、十二日以降ノ戰果ニ
見ル如ク赫々タル殲滅戰ヲ敢行シツ、

アリ。
而シテ今回ノ戦果ニ對シ畏クモ
天皇陛下ニオカセラレテハ南方各部隊
ニ御嘉尚ノ御勅諭ヲ賜ハレルノ光榮ニ
浴セリ。

吾等一同豈奮起セサルヲ得ンヤ。
尚亦今次戦果ノ蔭ニハ雄渾ナル作戦遂
行ヲ見璧ナラシムル爲幾多將兵が一身
ヲ投シ血肉ヲ擲ケテ悠久ハ大義ヲ

シタリ。

吾人ハ想ヒヨ此ニ致シ再度習志野出發
ノ決意ヲ新ニシ油断ナク作戦準備ヲ見
遂セサルヘカラス。吾人ノ奮闘ナクシ
テ皇國ノ存立ハ保障シ難シ。其ノ責務
ト銃后ノ期待ニ添ヒ得ル如ク
上御一人ニ對シ奉リ更ニ一段ノ忠節ヲ
誓ハントス。

最后ニ編成以來既ニ五ヶ月ノ間諸子

意圖ヲ奉ニ一意皇國護持ノ大道ヲ慕ヒ

熱誠トニ對シ衷ハ

謝意ヲ表シ

佳節ニ當リ右訓示ス

昭和十九年十一月

野崎大尉

第一大隊

第一大隊命令第三十號

第一大隊命令第三十號

第一大隊命令第三十號

第一大隊命令第三十號

第一大隊命令第三十號

ニトス

第一大隊命令第三十號

第一大隊命令第三十號

第一大隊命令第三十號

第一大隊命令第三十號

第一大隊命令第三十號

昭和九年十月二十九日

第一回軍官民連合演習日誌

野崎部隊



軍側目的

對空襲行動及指揮連絡ノ迅速的確性
ヲ検討ス

官民側

各種狀況ニ基ク防衛隊及警防團ノ組織
的連絡系統ヲ検討スルト共ニ本演習ヲ
通シ軍側トノ意志ノ疎通ヲ図リ併ヒテ
民衆ノ指導要領ヲ演練ス

二期間